

成果指標				
成果指標	事務事業費			
指標設定の考え方	中山歯科診療所を運営していく上で必要な経費であるため、事務事業費を指標とする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標28年度
目標	13171	11371	0	0
実績	12889	10654	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	地域の人口が減少していることから診療所の訪問者は減少傾向にあるが、訪問診療の機会を増やし、地域の歯科医療の充実に努めた。今後とも地域住民のニーズを分析し、口腔衛生の推進に努める必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	過疎・高齢化地域の歯科診療所であるが、地域住民の健康と安心の確保に必要な医療施設であり、今後も地域歯科医療の拠点施設として適正な施設運営に努める必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	経常的事務経費であり、評価対象外事務とすることも検討のこと。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。